

特集

エキスパートから学ぶ 肺癌診療における 悩ましいシチュエーション への解決策

企画：虎澤匡洋・後藤 悌・宿谷威仁

I. 検査

生検（気管支鏡検査）

今林達哉

遺伝子検査を使いこなすには

松本慎吾

II. 治療

【A. 一次治療で迷うレジメン選択】

chemo+ICI, ICI+ICI のレジメンの使い分け

三浦 理

EGFR 遺伝子変異の種類から考える治療戦略
(L858R, del19, uncommon mutation)

林 秀敏

【B. 二次治療以降で迷うレジメン選択】

ドライバー遺伝子変異陽性 NSCLC における

TKI 耐性後の治療戦略

渡部 聡

切除不能 III 期 NSCLC の化学放射線療法後
再発例の治療戦略

解良恭一

治療薬の re-challenge の考え方 (ICI, TKI)

寺岡俊輔

【C. 肺癌診療と医療経済】

医療経済的観点からの治療選択

後藤 悌

【D. 周術期補助化学療法】

術前/術後化学療法の治療戦略

虎澤匡洋・後藤 悌

【E. 患者背景から考察する肺癌治療戦略】

高齢者

小暮啓人

PS 不良患者

朝尾哲彦

間質性肺炎合併患者

藤本大智

腎機能障害のある患者

白石祥理

転移臓器別の治療戦略の立て方

—脳転移, 肝転移, 骨転移,
胸膜播種（癌性胸水）, 癌性髄膜炎

秦 明登

オリゴメタの患者の治療戦略

宮脇太一

III. 病状説明

肺癌診断～一次治療開始時の病状説明

高 遼

二次治療以降（標準治療終了後）での病状説明

津端由佳里